

様式第6号（第18条関係）

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和7年 5月 23日

宮崎市長 殿

宮崎市大坪町西六月2211番地1
大淀地域まちづくり推進委員会
会長 杉尾泰弘 ⑩
(0985) 50-2008

令和7年2月4日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告・収支決算書
- (ロ) 事業別収支報告書
- (ハ) 備品管理台帳
- (ニ) 積立金管理状況報告書
- (ホ) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書
- (ヘ) 通帳残高
- (ト) 決算に係る不用額等報告書
- (チ) 地域協議会の意見書

令和6年度 事業実施報告・収支決算書
大淀地域 大淀地域まちづくり推進委員会

1 総括

令和6年度はコロナ感染の影響も収まり、事業活動は順調に運営されまちづくりの各部会が提案した事業はすべて実施できました。また、新たな事業として小学校PTAから提案があった卒業式・入学式の記念撮影横断幕製作事業を実施することができました。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)


項目	予算	決算	差	備考
基礎交付金	3,244,726	3,244,726	0	
繰越金	658,053	658,053	0	
販売収入	50,000	26,500	▲23,500	
雑収入（ブルパト車燃料費他）	0	17,745	17,745	
合計	3,952,779	3,947,024	▲5,755	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	小学生のための通学路防災・安全確認講座実施事業（大淀小学校）	11年目	71,560	62,324	▲9,236	
防	小学生のための通学路防災・安全確認講座実施事業（古城小学校）	9年目	28,560	24,225	▲4,335	
防	防災かまどベンチ活用事業	2年目	31,660	29,686	▲1,974	
防	災害時用備蓄品の整備事業	10年目	234,300	234,300	0	
防	大淀ブルーパトロール隊巡回事業	15年目	472,480	404,471	▲68,009	
防	AED・自動体外式除細動器のブルパト車搭載事業	7年目	77,880	77,880	0	
防	生活安全ネットワーク事業	13年目	4,000	3,330	▲670	
防	通学路安全推進幟旗作製事業	4年目	110,000	93,280	▲16,720	
環	「EM菌培養液」活用事業	12年目	27,360	27,920	560	
環	花と緑のまちづくり事業	9年目	75,880	92,004	16,124	
環	街路ごみ清掃事業	5年目	16,560	22,419	5,859	
伝	大淀マチオモイ帖制作事業	4年目	199,600	198,000	▲1,600	
地	光フェスタ事業	5年目	173,795	90,692	▲83,103	
地	夢を語ろう色紙作成事業	4年目	91,000	114,263	23,263	
地	小学生に卒業記念品を贈ろう事業	4年目	10,960	27,070	16,110	
地	おおよど福祉まつり	10年目	791,200	665,674	▲125,526	
健	ふれあい健康ウォーキング大会	13年目	17,800	23,260	5,460	
他	まちづくり事務局整備事業	1年目	496,284	548,758	52,474	
他	報告会開催事業	8年目	44,000	30,344	▲13,656	
他	情報活動推進事業	16年目	757,900	757,900	0	
他	記念撮影横断幕製作事業	1年目	220,000	220,000	0	
	繰越金		0	199,224	199,224	
	合計		3,952,779	3,947,024	▲5,755	

3. 実施報告



[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	小学生のための通学路防災・安全確認講座 実施事業（大淀小学校）	実施年数	11年目															
事業期間	開始：26年度	終了：	年度															
地域魅力発信 プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど ・思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ◎「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち																	
目的 (期待される効果)	新6年予定児童（5年生）を対象とした通学路の防災及び安全確認																	
事業内容・手段	実施時期：令和6年11月 1日（金） 協力：大淀小学校、大淀小学校PTA、大淀地区青少年育成協議会、 大淀地区見守り隊、大淀地区自治会、 宮崎県防災士NW 実施時間：1～3校時 実施場所：大淀小学校 体育館  講座内容：【1～2校時】通学路歩いて確認 小学生と参加者による通学路の危険ヶ所、津波発生時の避難場所等の確認（まち歩き） 【3校時】 通学路地図に危険個所を整理し発表する （児童7～8名+教師・防災士1名+PTA1名+まちづくり・見守り隊） 参加者：大淀小学校5年生 104名																	
事業費	62,324円																	
対象者	大淀小学校5年生																	
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒数</td> <td>104人</td> <td>131人</td> </tr> <tr> <td>一般参加者</td> <td>20人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>12人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>136人</td> <td>167人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和6年度	令和5年度	生徒数	104人	131人	一般参加者	20人	20人	スタッフ	12人	16人	合計	136人	167人
年度	令和6年度	令和5年度																
生徒数	104人	131人																
一般参加者	20人	20人																
スタッフ	12人	16人																
合計	136人	167人																
住民の声（アンケートの結果等）	参加者からは、自分の通学路を関係者と歩いて安全確認ができるのは、班長になる子ども達にとって非常によいことだとの意見が聞かれた。																	

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	小学校から実施要望有り。	広報	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報	
	②住民の参加	B	B	自治会、見守り隊、小学校PTAの方が参加。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	通学時の危険箇所や災害対応を学び、登校班のリーダーとしての自覚、スキルを身に着ける。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくりが、地域の自治会や見守り隊と力を合わせて実施している。	事業の必要性		⑦住民の満足度	B	B	PTAの期待も高い。
	④各種団体との連携	A	A	大淀小学校、PTA、県防災士、地区青少協、自治会、見守り隊が参加している。		事業継続の必要性		(有)・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 通学路の危険箇所や避難場所を確認できたことで、リーダーとしての自覚ができる。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>					対応		未・済	
		<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>					対応		未・済	
		<意見への対応>								


※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	小学生のための通学路防災・安全確認講座実施事業 (古城小学校)	実施年数	9年目															
事業期間	開始：27年度	終了：年度																
地域魅力発信 プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・おおよど ・思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ○「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち																	
目的 (期待される効果)	4年生・5年生を対象とした通学路の防災及び安全確認																	
事業内容・手段	実施時期：令和7年1月24日（金） 協力：古城小学校、古城小学校PTA、大淀地区青少年育成協議会、 古城地区見守り隊、古城地区自治会、宮崎県防災士NW 実施時間：1～3校時 実施場所：古城小学校 体育館 講座内容：【1～2校時】小学生と参加者による通学路危険個所の確認 【3校時】通学路地図に危険個所を整理し発表する (児童4～7名+教師・防災士1名+まちづくり推進委員会1名+ PTA1名) 参加者：古城小5年生・4年生 27人																	
	 																	
事業費	24,225円																	
対象者	古城小学校4年・5年生																	
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒数</td> <td>27人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>一般参加者</td> <td>3人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>6人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>36人</td> <td>44人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和6年度	令和5年度	生徒数	27人	30人	一般参加者	3人	4人	スタッフ	6人	10人	合計	36人	44人
年度	令和6年度	令和5年度																
生徒数	27人	30人																
一般参加者	3人	4人																
スタッフ	6人	10人																
合計	36人	44人																
	※事業内容に応じて男女別や年代別データ																	
住民の声（アンケートの結果等）	一緒に歩いてみると、通学路は車が多いな～特に正門前の横断歩道はカーブの途中で安全の確保は大変だとの声があった。																	

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	小学校から実施要望有り。	広報	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報
	②住民の参加	B	B	自治会、見守り隊が参加した。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくりが自治会や見守り隊、県防災士と力を合わせて実施している。			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	A	A	P T A、見守り隊、自治会、県防災士と参加した。	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 通学路の危険個所を再確認できたことで、リーダーとしての自覚ができる。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	防災かまどベンチ活用事業（古城小学校）	実施年数	2年目
事業期間	開始：令和5年度	終了：	年度
地域魅力発信 プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど ・思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ◎「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち		
目的 (期待される効果)	災害に備えて、防災かまどベンチの活用方法の訓練とPRを行う。		
事業内容・手段	実施時期：令和7年 3月 2日（日曜日） 古城小学校 協力：古城小学校PTA 実施場所：古城小学校 プール横（防災かまどベンチ1基使用） 実施内容：ベンチ部分を新しく製作する		
			
事業費	29,686円		
対象者	古城小学校		
参加者数 (内訳)	年度	令和6年度	令和5年度
	生徒数	0人	150人
	一般参加者	6人	100人
	スタッフ	2人	11人
	合計	8人	261人
※事業内容に応じて男女別や年代別データ			
住民の声（アンケートの結果等）	こんな所にかまどベンチがあることを初めて知ったとの声をいただいた。		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	B	B	防災・減災への意識作り・知識作り	広報	⑤事業の周知	B	B	元気だよりにて周知	
	② 住民の参加	B	B	P T A が一緒に参加している。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	かまどベンチの使い方を知るいい機会である。
	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	かまどベンチの使い方を知るいい機会である。			⑦住民の満足度	B	B	
	④各種団体との連携	B	B	P T A が手伝っている。			事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>					対応	未・済		
		<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>					対応	未・済		
		<意見への対応>								


※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	災害時用備蓄品の整備事業	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：	年度												
地域魅力発信プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど ・思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ○「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち														
目的 (期待される効果)	災害発生時における避難活動の円滑な実施														
事業内容・手段	災害発生時における避難活動の円滑な実施に備えて、携帯電話用のポータブル充電装置と非常用トイレを準備する。 設置場所は、大淀地域事務所とする。 (令和6年度備蓄) ・携帯電話用のポータブル充電装置 3台 (ソーラーパネル付き) ・ベントリー袋100回分 3式														
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(福祉祭りに展示説明した)</p>														
事業費	234,300円														
対象者	大淀地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	0人	0人	スタッフ	3人	3人	合 計	3人	3人		
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ	3人	3人													
合 計	3人	3人													
	※事業内容に応じて男女別や年代別データ														
住民の声 (アンケートの結果等)	福祉祭りにも災害対応ブースを作り、携帯電話用のポータブル充電装置を展示し使ってもらい、災害時には必要だよねーとの声を多数いただいた。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	災害発生に備えて備蓄する。	広報	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報
	②住民の参加					⑥課題解決への作用	B	B	災害時用備蓄品の確保
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	災害発生時に必要な機材を準備する。	事業の効果	⑦住民の満足度	B	B	
	④各種団体との連携	B	B	宮崎市消防局、宮崎市危機管理課、古城小学校。		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	


※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⓪』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	大淀ブルーパトロール隊巡回事業	実施年数	15年目									
事業期間	開始：平成22年度	終了： 年度										
地域魅力発信 プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど ・思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ◎「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち											
目的 (期待される効果)	大淀地域自治区において自主防犯パトロールを実施し、街頭における各種犯罪及び事故、災害の抑止を図り、地域住民の安全で安心な生活を守る活動を目的とする。											
事業内容・手段	自主防犯活動の実施 ・青色パトカーに隊員2名以上で乗車し、小中学生登下校時の安全見守りや地域内の防犯パトロールを実施した。 ・高齢者、児童・生徒への声かけを積極的に行い、犯罪等を予防した。 ・不審者や犯罪等を認知した場合や保護が必要と思われる児童・生徒を発見した場合は、速やかに警察や関係機関へ通報する。 令和元年に新しいブルパト車（軽バン）を更新した。 （誤発進抑制装置、ドライブレコーダーなどを装備）											
												
事業費	404,471円											
対象者	大淀地域住民											
参加者数 (内訳)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">年 度</th> <th style="width: 35%;">令和6年度</th> <th style="width: 35%;">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パトロール回数</td> <td style="text-align: center;">41回</td> <td style="text-align: center;">29回</td> </tr> <tr> <td>乗車人数</td> <td style="text-align: center;">63名</td> <td style="text-align: center;">61人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	パトロール回数	41回	29回	乗車人数	63名	61人
年 度	令和6年度	令和5年度										
パトロール回数	41回	29回										
乗車人数	63名	61人										
住民の声（アンケートの結果等）	パトロール回数も増えてきているがもう少し活発化させていきたい。 小学生の子ども達は、ブルパト車を見ると元気に挨拶し手を振ってくれるのでやりがいを感じられる。											

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B		広報	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報
	②住民の参加	B	B	青少協がブルーパトロール隊員として活動している		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	地域の住民、団体の協力をえて地域を巡回している			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	B	B	青少協がブルーパトロール隊員として活動している	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> AEDを搭載して巡回をしている。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								


※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	AED・自動体外式除細動器のブルパト車搭載事業	実施年数	7年目												
事業期間	開始：平成30年度	終了：	年度												
地域魅力発信プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど ・思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ◎「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち														
目的 (期待される効果)	一般の人がAEDを使用して人命救護した事例は年々増えており、ブルパト中に、そこにAEDがあり、そこに助けようとする人がいれば、助かる命があります。又、まちづくり推進委員会主催の各行事やイベント時に携帯する事で、参加される地域の方の安全が向上します。 大淀の住民が安全で安心して生活できる地域づくりを目指します。														
事業内容・手段	ブルパト巡回時にAED・自動体外式除細動器を搭載した。 AEDは地域の祭り等のイベントにも貸出ている  (AEDは平成30年に5年リースとして導入している。)														
事業費	77,880円														
対象者	大淀地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ(講習会)</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	0人	0人	スタッフ(講習会)	0人	0人	合 計	0人	0人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ(講習会)	0人	0人													
合 計	0人	0人													
住民の声(アンケートの結果等)	無し														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握				広報	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報
	②住民の参加					事業の効果	⑥課題解決への作用		
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	ブルパト車に搭載して巡回している	事業の必要性		⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携								
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ブルパト車にAEDを搭載して巡回をしている。 地域の色々なイベントにAEDを貸出している。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	生活安全ネットワーク事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：年度													
地域魅力発信プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど ・思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ◎「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち														
目的 (期待される効果)	地域住民が安全で安心して暮らせる大淀地区を目指す。														
事業内容・手段	2月22日(土) 第13回大淀地域生活安全連絡会議を大淀地域事務所2階会議室にて開催した。 1. 講和(宮崎南警察署大坪交番) 2. 関係団体の活動状況 ・大淀中学校、大淀小学校、古城小学校の報告 3. 討議・・・安全で安心して暮らせるまちづくりのために (参加団体) 大坪交番、交通安全協会、自治会連合会、地区社協、民児協、青少協、老人クラブ、体育会、青少年指導員、包括支援センター 各自治会、大淀中学校、大淀小学校、古城小学校の先生・PTA														
															
事業費	3,330円														
対象者	防犯関係諸団体														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>18名</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>6名</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>24名</td> <td>28名</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	18名	21名	スタッフ	6名	7名	合計	24名	28名
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	18名	21名													
スタッフ	6名	7名													
合計	24名	28名													
	※事業内容に応じて男女別や年代別データ														
住民の声(アンケートの結果等)	・毎回通学時の安全確保について要望がなされ、パトカーが危ない通学路を巡回している。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B		広報	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報
	②住民の参加	B	B	自治会や地域の団体が参加した。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	小中学生の通学時の安全確保について話しあった。			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	B	B	P T Aはじめ多くの地域の団体が参加した。	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	通学路安全推進幟旗作製事業	実施年数	4年目									
事業期間	開始：令和2年度	終了：										
地域魅力発信プランとの関連	<p>天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ◎「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち 											
目的 (期待される効果)	大淀地域自治区における交通事故ゼロを目指し、通勤中の運転者に交通安全を呼びかける幟旗を作製し、小中校生通学路の交通指導場所に掲示する。											
事業内容・手段	<p>毎朝小中学生の通学路の交通指導をおこなっているグループに、運転者の交通安全意識を啓発する幟旗を配布し、毎朝幟旗を掲げてもらい交通指導に役立ててもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全を呼びかける幟旗は、地区の青少年育成協議会が夏休み中に大淀の子供達より募集した、「夏のおもいで」絵はがきの絵を刷込み作製した。 ・幟旗は40枚作成し交通指導グループに配布している。 <p>・令和7年3月に幟旗が完成し配布中</p>											
事業費	93,280円											
対象者	大淀地域内登下校見守りグループ											
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配布自治会他</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>枚数</td> <td>6枚</td> <td>6枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	配布自治会他	14	14	枚数	6枚	6枚
年 度	令和6年度	令和5年度										
配布自治会他	14	14										
枚数	6枚	6枚										
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・今年も幟旗は大淀地区青少協主催で応募のあった生徒・児童が描いた夏のおもいで絵はがきが印刷してあり、大変親しみやすくなっている。 											

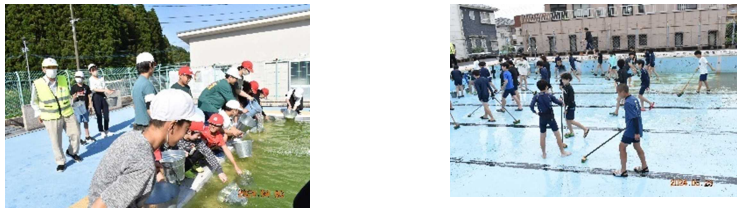


◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	風雨や日差しに傷みが酷い為新しい旗の要望があった	広報	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報
	②住民の参加	B	B	自治会、登下校見守り隊が活用		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	大淀地区青少協の夏の絵ハガキの作品を印刷している。			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	B	B	自治会、見守り隊に配布している。	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 生徒・児童が描いた「夏のおもいで」の絵ハガキを幟旗に印刷している。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



[2] 環境に係る事業

事業名	「EM菌培養液」活用事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成25年度	終了：	年度												
地域魅力発信プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど ◎思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ・「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち														
目的 (期待される効果)	自然素材である「EM菌」の活性化液を培養し、大淀地域への普及を図りその水質浄化作用を利用して、きれいな下水道、河川に変えていく。														
事業内容・手段	水質浄化作用があるとされている「EM菌」(有用微生物群)を培養した“活性化液”を作り、それを活用して、プールの浄化、清掃を行う。 ① 学校プールの浄化活動 大淀小学校、古城小学校のプール浄化 ・4月に活性化液作り(4月22日) ・4月に活性化液投入(4月30日) ・5月、6月にプール清掃(5月23日、6月7日) ・9月に活性化液作り(9月2日) ・9月に活性化液投入し、来春まで水張り(9月9日、6日)														
															
	注) 4月 古城小ビオトープでのオオイタサンショウウオお別れ会に参加した														
事業費	27,920円														
対象者	大淀小学校、古城小学校														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>183人</td> <td>185人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>37人</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>220人</td> <td>249人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	183人	185人	スタッフ	37人	64人	合計	220人	249人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	183人	185人													
スタッフ	37人	64人													
合計	220人	249人													
	※事業内容に応じて男女別や年代別データ														
住民の声(アンケートの結果等)	EM菌効果でプール壁面の藻などが水をかけるだけで簡単におちるようになり、プール清掃が簡単になった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	小学校から要望有	事業の効果	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報	
	②住民の参加	B	B	大淀小、古城小の児童と一緒に実施している		⑥課題解決への作用	B	B	プール清掃が簡単になる	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	J A高岡よりEM菌を購入し活用している		⑦住民の満足度	B	B	プール清掃が簡単にでき綺麗になる	
	④各種団体との連携	B	B	大淀小学校 古城小学校	事業継続の必要性			○有・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>								対応	未・済
	<意見への対応>									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>								対応	未・済
	<意見への対応>									


※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	花と緑のまちづくり事業	実施年数	9年目												
事業期間	開始：平成28年度	終了：	年度												
地域魅力発信プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど ◎思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ・「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち														
目的 (期待される効果)	花と緑の植栽を通じて、大淀の街並みを綺麗に維持していく活動を押し進め、この地域に生活する豊かさを向上させる。														
事業内容・手段	花と緑のまちづくり活動の取り掛かりとして、地域の方が参加する花の寄せ植え教室を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・寄せ植え教室 3月6日（木） 江南保育園、千代田幼稚園、学遊館 68人参加 ・天神山公園の花壇を地域の方と綺麗に整地し、市の景観課花いっぱい推進事業で提供された花をきらら保育園の園児さんとたのしく植え付けた。 春) 草取り・耕地4月30日、施肥；5月15日、花植栽；5月24日 秋) 草取り・耕地；11月14日、施肥；11月29日、花植栽；12月 5日、 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>														
事業費	92,004円														
対象者	大淀地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">年度</th> <th style="width: 35%;">令和6年度</th> <th style="width: 35%;">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>119人</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>52人</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>171人</td> <td>125人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	119人	75人	スタッフ	52人	50人	合計	171人	125人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	119人	75人													
スタッフ	52人	50人													
合計	171人	125人													
住民の声（アンケートの結果等）	寄せ植え教室は、園児さん・学童さんを対象に実施した。綺麗になりました～と喜ばれている。 天神山花壇の植栽には、毎回きらら保育園の園児さんと元気いっぱい可憐な花を植えている。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B		広報	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報
	②住民の参加	B	B	きらら保育園の園児さんが花の植栽のお手伝いをしてくれる。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	天神山の花壇の植栽を行っている。			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	B	B	きらら保育園のお手伝いや幼稚園・保育園で寄せ植え教室を開催している。	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞								
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未・済	
	＜意見への対応＞							未・済	
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未・済	
	＜意見への対応＞							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	街路ごみ清掃事業	実施年数	5年目												
事業期間	開始：令和2年度	終了：	年度												
地域魅力発信プランとの関連	<p>天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど</p> <p>◎思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち 														
目的 (期待される効果)	大淀地区の環境美化を目的に、路上のごみ拾いを行う。														
事業内容・手段	<p>毎月の第3月曜日に朝（夏場；8時45分、冬場；9時）から1時間程度、小中学生の通学路を中心に、路上のごみ拾いを行った。</p> <p>7月は駅前祭りの翌朝に祭り会場のゴミ拾いを行った。 8月は大淀中学校の生徒さんと一緒に、登校エリアのゴミ拾いやゴミ重さ競争を行い楽しい時間を過ごした。</p> <p>また、11月には大淀中3年生のイベントとして3年生全員で大淀地区内のゴミ拾いを実施した。（まちづくりは安全指導を行った）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>														
事業費	22,419円														
対象者	大淀地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>56人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>112人</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>168人</td> <td>82人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	56人	0人	スタッフ	112人	82人	合計	168人	82人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	56人	0人													
スタッフ	112人	82人													
合計	168人	82人													
住民の声（アンケートの結果等）	<p>小中学生の通学路を中心に、ゴミ拾いを実施している。</p> <p>タバコの吸い殻、空き缶、マスクの落とし物などバス停の椅子周辺に多く落ちている。行きかう人はご苦労さま～と気持ちよく挨拶してくれる。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	小中学生は通学路に落ちているゴミを見て、もっと綺麗な街を望んでいる	広報	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報
	②住民の参加	B	B			事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	月1回の継続的な活動を実施している			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	A	B	コロナも落ち着き、大淀中学校の生徒さんと一緒に活動した。	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 地区内の小中学生による発表会「子供の声を聞く会」にて、通学路上にゴミが落ちている、もっと綺麗な街になってほしいとの声を受け、実施している。 コロナ感染も落ち着き、夏休みに大淀中学校生徒さんと一緒にゴミ拾いを実施した。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[3] 伝統文化に係る事業)

事業名	大淀マチオモイ帖制作事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：													
地域魅力発信プランとの関連	<p>天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ・「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち <p>◎大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち</p>														
目的 (期待される効果)	<p>大淀のむかしの生活の「記憶」を「記録」し、後世に伝え、ふるさとを愛する心を涵養するとともに、大淀の魅力を地区内外に発信する。</p>														
事業内容・手段	<p>大淀の古い生活の「記憶」の保存活動として、大淀マチオモイ帖を作成し、大淀地区の財産として「記録」する。なお、製作した大淀マチオモイ帖は一部販売し、事業収入に充てる。今回は第12集を編集し発行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 令和6年 9月～12月：大淀地区出身者等から、第12集の原稿を募る。 * 令和7年 1月：編集作業 * 2月：業者発注 * 3月：完成 														
事業費	198,000円														
対象者	大淀地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>25人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>4人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>29人</td> <td>23人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	25人	20人	スタッフ	4人	3人	合計	29人	23人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	25人	20人													
スタッフ	4人	3人													
合計	29人	23人													
住民の声（アンケートの結果等）	<p>「自分の孫が地域の祭りやイベント、朝の見守りの感謝など故郷への気持ちを文章にしているので親戚に読ませたい」と数冊買っていただいた。</p>														




◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	地域の生活を楽しく思い出し大事にしている。	広報	⑤事業の周知	B	B	元気だよりにて広報	
	② 住民の参加	B	B	小中学生にも寄稿をお願いしている。		事業の効果	⑥課題解決への作用			
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	文化伝承部会にて取りまとめを行っている。			⑦住民の満足度	B	B	
	③ 各種団体との連携	B	B	寄稿を古くからある色々な団体にもお願いしていきたい。	事業継続の必要性				有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応		未・済	
		<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応		未・済	
		<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



[4] 地域再生に係る事業

事業名	光フェスタ事業	実施年数	5年目												
事業期間	開始： 令和2年度	終了： 年度													
地域魅力発信プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・おおよど ◎思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ・「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち														
目的 (期待される効果)	コロナウイルス感染が地域に暗い影を落とすなか、地域の住民を元気づける冬の祭りとして、街を明るく照らす光フェスタを開催する。														
事業内容・手段	大淀地域のお宝発掘・発展・発信事業である「大淀マチオモイ事業」が毎年11月に開催していたイルミネーションフェスタを光フェスタ事業として継承していく。 本年度は、FabLab 宮崎と協力して天神山の竹林を活用した竹灯籠を飾り付けるイベントを実施した。 ・令和6年10月～令和7年1月 竹灯籠の製作、飾り付け 10月；竹伐採、灯籠サイズに細断、竹煮（油取り） 11月～12月；竹煮後の乾燥、色塗り、穴あけ 12月末～1月初め；宮崎天満宮に竹灯籠を飾った														
															
事業費	90,692円														
対象者	大淀地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>105人</td> <td>77人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>92人</td> <td>93人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>197人</td> <td>170人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	105人	77人	スタッフ	92人	93人	合 計	197人	170人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	105人	77人													
スタッフ	92人	93人													
合 計	197人	170人													
住民の声（アンケートの結果等）	宮崎工業高校の生徒さんが竹灯籠の穴あけを、学遊館・大淀幼稚園・大坪保育園の園児さんが竹灯籠の色塗りを手伝い、慣れない手つきで楽しんでいた。歳末の夜の竹灯籠の光のゆらめきに皆さん癒されていた。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B		広報	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報
	②住民の参加	A	A	工業高校の生徒さんや幼稚園・保育園の園児さんに協力を頂いた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	色々な世代の応援をもらい竹灯籠は制作されている。			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	A	A	工業高校生・幼稚園保育園の園児さんと協力して竹灯籠作りを行った	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 地域の方や幼稚園・保育園の園児さんや高校生と一緒に竹灯籠を製作している。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	


※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	夢を語ろう色紙作成事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：	年度												
地域魅力発信プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど ◎思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ・「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち														
目的 (期待される効果)	卒業を目の前にした中学3年生に自分の夢を色紙に書いてもらい、クラスの中に掲示してクラス全員で夢を語り合う。														
事業内容・手段	50文字程度を書ける色紙を中学校のクラス単位に先生を含めた枚数分作成する。色紙に自分の夢を書いて掲示ボードに展示し、クラスの皆で各々の夢を語り合う。 9月～11月 色紙デザインの検討 12月 色紙の製作 1月 8日(水) 色紙記入、掲示ボードにクラス全員の色紙を展示 3月16日(日) 卒業式終了後、自宅に持ち帰る														
	 														
事業費	114,263円														
対象者	大淀中学校3年生														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>156人</td> <td>188人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>159人</td> <td>191人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	156人	188人	スタッフ	3人	3人	合計	159人	191人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	156人	188人													
スタッフ	3人	3人													
合計	159人	191人													
	※事業内容に応じて男女別や年代別データ														
住民の声(アンケートの結果等)	授業の一環としてクラスの中で自分の色々な夢を色紙に記述し、隣同士で見せ合い賑やかな時間が流れていた。 PTA役員は、色紙の形を大きな桜の花びらにし印刷文字を変えるなどその年の独自性を出されていた。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	P T Aからの要望にて実施している。	広報	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報
	②住民の参加	B	B	P T A執行部が色紙のデザインを検討している。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	学校やP T Aとの関係を強くすることができた。			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携				事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								


※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	小学生に卒業記念品を贈ろう事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：	年度												
地域魅力発信プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど ◎思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ・「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち														
目的 (期待される効果)	小学校の卒業記念に、卒業の年齢と同じ杉の木で作ったお守りを贈る。														
事業内容・手段	県の森林組合から提供された6分割もしくは8分割された杉の断片をサンドペーパーで磨き上げ、蜜蝋にて艶出しを行う。 紐を取付けた後、卒業式の日付を電熱こてで文字入れを行い卒業を祝うメッセージとともに包装する。コロナ収束後はPTAと一緒に実施したい。 3月 7日(金) サンドペーパー磨き、蜜蝋にて艶出し 10日(月) 紐の取付け、校章付け、文字入れ 10日(月) 卒業メッセージを入れて包装														
															
事業費	27,070円														
対象者	大淀小学校、古城小学校の6年生														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>158人</td> <td>177人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>22人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>180人</td> <td>198人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	158人	177人	スタッフ	22人	21人	合計	180人	198人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	158人	177人													
スタッフ	22人	21人													
合計	180人	198人													
	※事業内容に応じて男女別や年代別データ														
住民の声(アンケートの結果等)	卒業式にて素敵な記念品を頂いたと感謝されている。 3Dプリンターで製作した校章を飾付けしてあり、記念になるとの声を頂いた。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	木育として実施	広報	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報
	②住民の参加	B	B	小学校6年生に贈呈		事業の効果	⑥課題解決への作用		
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	小学校やPTAとの関係を強くすることができた。			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	B		ファボラボ宮崎と校章を作成した。	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 3Dプリンターで校章を製作して飾り付けることができた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



事業名	笑顔が花咲くやさしいまち おおよど福祉まつり	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：年度													
地域魅力発信プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・おおよど ◎思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ・「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち														
目的 (期待される効果)	地域の健康・福祉の向上を目指し、たくさんの団体の参加・協力を得て、色々な催しで住民の豊かな生活を実現していく														
事業内容・手段	おおよど福祉まつりのテーマ ー誰もが安心して暮らせるまち 安全 安心 いきいき大淀ー 主催：まちづくり推進委員会、地区社会福祉協議会 協賛団体：地域協議会、自治会連合会、市社会福祉協議会 協力団体：さんさんクラブ連合会、地区民児協他地域の団体多数 開催日：令和6年10月13日（日） 11時～ 14時 開催場所：宮崎市総合福祉保健センター、大坪池公園 大淀小、古城小、大淀中の児童・生徒さんが多数ボランティアとして参加し、南高校・西高校の生徒さんにダンスを披露してもらえた。														
	  														
事業費	665,674円														
対象者	大淀地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1,500人</td> <td>1,080人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ・ボランティア</td> <td>400人</td> <td>420人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,900人</td> <td>1,500人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	1,500人	1,080人	スタッフ・ボランティア	400人	420人	合 計	1,900人	1,500人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	1,500人	1,080人													
スタッフ・ボランティア	400人	420人													
合 計	1,900人	1,500人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの小中学生がボランティア活動を、南高や西高の生徒さんがダンスを披露するなど子ども達の元気な姿が見られた。 ・健康測定や体力測定などに地域の方がたくさん来場され、健康増進の役にたっている。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	B	B	昨年より多数の方が参加した。	広報	⑤事業の周知	B	B	ポスター、自治会班回覧ちらし、元気だよりにて広報。
	② 住民の参加	B	B	小中学生のボランティアや赤ちゃんハイハイ競争など多世代の人が参加している。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	小中学校や地域の団体を組織して祭りを開催している。	事業の必要性		⑦住民の満足度	A	A
	③ 各種団体との連携	A	A	スタッフとして地域の団体の方が多数協力している。		事業継続の必要性	有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 多くの子ども達がティラノサウルスの被り物を大変楽しんでた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『⊕』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『⊖』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[5] 健康づくりに係る事業

事業名	ふれあい健康ウォーキング大会	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：	年度												
地域魅力発信プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・おおよど ◎思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ・「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち														
目的 (期待される効果)	健康ウォーキングを通じて、大淀地域の歴史と文化を今に語り継ぐ史跡群をめぐってその息吹を心と肌で感じ、地域の自然の豊かさや美しさを再認識し、住民1人1人が心と体の健康増進に努める。														
事業内容・手段	(1) 大淀地区内の史跡群を周回し、自分の体力にあった無理のない程よいコース(3km程度)をウォーキングする。 (2) 完走後や中間点(休憩所)にて飲料水他(スポーツドリンクやキャンディ)を提供する。 (3) 大淀地区青少年育成協議会と共同開催する。 開催日：令和6年5月25日(土) 9時～12時 花山手大坪池公園に集合し、古城地区の谷口お滝不動尊、中岡の観音堂、伊満福寺を散策するコースを歩いた。														
	 														
事業費	23,260円														
対象者	大淀地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>30人</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>42人</td> <td>67人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	30人	55人	スタッフ	12人	12人	合計	42人	67人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	30人	55人													
スタッフ	12人	12人													
合計	42人	67人													
住民の声(アンケートの結果等)	・「花山手団地の裏に、こんな昔懐かしい山道があり地域の方から大事にされている不動尊があるとは初めて知りました」と喜んでおられた。 ・5月の気持ち良い気候の中、山道や田んぼ脇を散策し心地よい汗をかきました～と喜ばれていた。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	B	B	歩くのに気候の良い5月に計画した。	広報	④ 事業の周知	B	B	自治会掲示のポスターや元気だよりにて広報
	② 住民の参加	B	B	高齢の参加者が多かった。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B				⑦住民の満足度	B	B
	③ 各種団体との連携	B	B	青少年育成協議会と共同開催	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 何回か試走を行い車の通行が少なく小さな子供や高齢者が歩いて楽しいコースを選択した。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（平成 5年 8月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



[6] その他の事業

事業名	まちづくり事務局整備事業	実施年数	1年目												
事業期間	開始： 令和6年度	終了： 令和6年度													
地域魅力発信プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど ◎思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ・「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち														
目的 (期待される効果)	各部会の運営をスムーズに行うのに必要な複写機等の機材他を準備する。														
事業内容・手段	まちづくり推進委員会事務局に機材を準備した。 ① 複写機 リース料 ② パソコン3台 リース料 ③ 通信費 電話料 ④ 印刷機消耗品代 ⑤ 用紙代														
事業費	548,758円														
対象者	まちづくり推進委員会														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	人	人	スタッフ	人	人	合 計	人	人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	人	人													
合 計	人	人													
住民の声（アンケートの結果等）	まちづくりに必要な機材を準備し、効率的な運営が出来るようになっている。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握				広報	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報している
	②住民の参加					事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	事務局の円滑な運営が可能となっている			⑦住民の満足度		
	④各種団体との連携				事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（利和 年 月 日）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								


※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	報告会開催事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成29年度	終了：	年度												
地域魅力発信プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど ◎思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ・「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち														
目的 (期待される効果)	地域の住民に広く参加を呼びかけ、令和4年度の報告会を宮崎市民文化ホール・会議室にて開催する。														
事業内容・手段	令和5年度報告会 日時；6月22日（土）13時30分～15時30分 会場；宮崎市民文化ホール 会議室 式次第；第1部 講演会「南海トラフ地震を理解するための基礎知識」 第2部 令和5年度まちづくり活動報告（4部会発表） 大淀中の生徒さんがボランティアとして会場受付や資料配布を行い、その後の講演・報告にも参加した。														
	 														
事業費	30、344円														
対象者	大淀地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>90人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>6人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>96人</td> <td>112人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	90人	100人	スタッフ	6人	12人	合 計	96人	112人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	90人	100人													
スタッフ	6人	12人													
合 計	96人	112人													
住民の声（アンケートの結果等）	受付や資料配布を中学生に手伝ってもらえた。 南海トラフ地震に関する講演は今一番ホットな内容であり、皆さん大変興味深く聞かれていた。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握				広報	⑤事業の周知	B	B	おおよど元気だよりにて広報
	② 住民の参加	B	B	地域の方に参加を呼びかけた。		⑥課題解決への作用			
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくりの活動を広く地域の方に知って頂く機会である。		事業の効果	⑦住民の満足度	A	B
	③ 各種団体との連携	A	A	大淀中の生徒さんが受付他を手伝ってくれた。	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 南海トラフ地震に関する講演は非常に興味深かった。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								



※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	情報活動推進事業	実施年数	16年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：年度													
地域魅力発信プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・・おおよど ◎思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ・「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち														
目的 (期待される効果)	地域内の団体から発信される事業内容や案内等をコンパクトにまとめ、地域住民に的確な情報を提供し、まちづくり活動への理解と協力を促進する。														
事業内容・手段	情報誌 「おおよど元気だより」発行 参加団体 大淀地域まちづくり推進委員会、大淀地域自治区地域協議会・地域事務所、大淀公民館、大淀地区社会福祉協議会、大淀地区青少協（12月号、3月号に掲載） 発行回数 3回（7月号、12月号、3月号） 内容 5団体の事業案内と業務の紹介 他 形式 A4版 10頁／12頁 全カラー印刷 編集 各団体で作成し、合同で編集作業にあたる。 配布 大淀地区自治会加入世帯(5,500部) 団体、事務所、公共機関、金融機関他(1,500部)														
															
事業費	757,900円														
対象者	大淀地域住民、地域の各種関係機関														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	人	人	スタッフ	9人	9人	合計	9人	9人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	9人	9人													
合計	9人	9人													
住民の声（アンケートの結果等）	参加5団体（3月号のみ6団体）が、地域住民にアピールしたい記事を見やすくまとめており、分かりやすい活動誌になっている。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握				広報	⑤事業の周知	A	A	元気だよりを年3回発行し、facebookにも掲載している
	②住民の参加					事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくりの活動を広く広報している			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	B	B	5～6団体の記事を掲載している。	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 若者がスマホで簡単に閲覧できるよう、元気だよりの表紙にまちづくりfacebookのQRコードを表示している。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）> <意見への対応>				対応	未・済			
	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）> <意見への対応>				対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	記念撮影横断幕製作事業	実施年数	1年目												
事業期間	開始：令和6年度	終了：	年度												
地域魅力発信プランとの関連	天神の森に 笑顔と元気あふれるまち・・おおよど ◎思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち ・「あなたのその一声」がつくる安全で安心して暮らせるまち ・大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち														
目的 (期待される効果)	地域内にある小中高校の卒業式・入学式の感動をより高め、将来の記憶に残る写真を撮影するための記念写真撮影の横断幕を製作する。														
事業内容・手段	地域内にある大淀小学校、古城小学校、大淀中学校、宮崎工業高校に卒業式・入学式の記念撮影横断幕を製作し提供する。 幕内の文章については、学校PTAと打合せを行い作成した。 令和7年2月 文章を決定し横断幕を製作 3月 卒業式横断幕を学校に納入 3月 入学式横断幕を学校に納入														
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>														
事業費	220,000円														
対象者	大淀地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <tr> <td>年 度</td> <td>令和6年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>7人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>7人</td> <td>人</td> </tr> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度		一般参加者	人	人	スタッフ	7人	人	合 計	7人	人
年 度	令和6年度														
一般参加者	人	人													
スタッフ	7人	人													
合 計	7人	人													
住民の声 (アンケートの結果等)	横断幕を背景に写真を撮ると記念になるようね〜と喜ばれていた。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	④ 地域ニーズの把握	B		学校PTAより要望があり実施した。	広報	⑤事業の周知	B		おおよど元気だよりにて広報
	⑤ 住民の参加	B		学校の卒業生親子が楽しく撮影していた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B		まちづくりと学校やPTAとの連携を深めている。	事業の効果	⑦住民の満足度			
	⑥ 各種団体との連携	B		学校PTAと一緒に製作した。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 卒業生親子が楽しく撮影していた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会では出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	小学生のための通学路防災・安全確認講座実施事業(大淀小)
-----	------------------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動 交付金	71,560	
	合計 (A)	71,560	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	61,204	印刷費他 36,454円 消耗品費 (リーダー用シール代) 24,750円
2	役務費	1,120	ボランティア行事用保険料 1,120円
3			
	合計 (B)	62,324	

収支差額 (A) - (B)	9,236
----------------	-------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	小学生のための通学路安全確認講座事業（古城小）
-----	-------------------------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動 交付金	28,560	
4	合計（A）	28,560	

（２）支出の部

（単位：円）

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	23,665	地図印刷費 22,000円 食糧費（お茶代） 1,665円
2	報償費		
3	役務費	560	ボランティア行事用保険料 560円
	合計（B）	24,225	

収支差額（A）－（B）	4,335
-------------	-------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	防災かまどベンチ活用事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動 交付金	31,660	
	合計 (A)	31,660	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	29,686	ベンチ部組立材料代 19,800円 サツマイモ・焼網代 9,886円
2	役務費		
	合計 (B)	29,686	

収支差額 (A) - (B)	1,974
----------------	-------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	災害時用備蓄品の整備事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動 交付金	234,300	
	合計 (A)	234,300	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	52,800	災害用トイレ3箱 52,800円
	備品購入費	181,500	災害時用備蓄品代 181,500円 (ポータブル電源・ソーラーパネル 各3台)
	合計 (B)	234,300	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	大淀ブルーパトロール隊巡回事業
-----	-----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動 交付金	472,480	
2			
	合計 (A)	472,480	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	54,691	燃料費 (リース車ガソリン代) 33,734円 食糧費(お茶代) 10,912円 青パト回転灯代 10,045円
2	役員費	14,500	ボランティア活動保険料 500円×29名=14,500円
3	使用料及び賃借料	335,280	巡回車リース料 335,280円
	合計 (B)	404,471	

収支差額 (A) - (B)	68,009
----------------	--------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	AED・自動体外式除細動器のブルパト車搭載事業
-----	-------------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	地域コミュニティ活動 交付金	77,880	
	繰越金	0	
	合計 (A)	77,880	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科 目	金 額	内 訳
1	使用料及び賃借料	77,880	AEDリース料 77,880円
2			
3			
	合計 (B)	77,880	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	生活安全ネットワーク事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動 交付金	4,000	
	合計 (A)	4,000	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	3,330	食糧費 (お茶代) 3,330円
	合計 (B)	3,330	

収支差額 (A) - (B)	670
----------------	-----

事業別収支計算書

大淀地域

大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	通学路安全推進幟旗作製事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動 交付金	110,000	
	合計 (A)	110,000	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	93,280	幟旗縫製費 (40枚) 88,000円 ポール代 (10本) 5,280円
	合計 (B)	93,280	

収支差額 (A) - (B)	16,720
----------------	--------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	「EM菌培養液」活用事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動 交付金	27,360	
2	繰越金	0	
	合計 (A)	27,360	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	24,000	EM菌活性液 (6,000円 × 4回)
2	役務費	3,920	ボランティア行事用保険料 3,920円 (20人×28円×7回)
	合計 (B)	27,920	

収支差額 (A) - (B)	▲ 560
----------------	-------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	花と緑のまちづくり事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	75,880	
2	負担金		
	合計 (A)	75,880	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	88,644	寄せ植え花代 68,000円 腐葉土肥料代 10,273円 食糧費 (お茶代) 10,371円
2	役務費	3,360	ボランティア行事用保険料 3,360円 (20人×28円×6回)
	合計 (B)	92,004	

収支差額 (A) - (B)	▲ 16,124
----------------	----------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	街路ゴミ清掃事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動 交付金	16,560	
	繰越金	0	
	合計 (A)	16,560	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	14,299	軍手・火ばさみ他 8,138円 食糧費 (お茶代) 6,161円
2	役務費	8,120	ボランティア行事用保険料 8,120円 (20人×28円×12回+50人×28円)
	合計 (B)	22,419	

収支差額 (A) - (B)	▲ 5,859
----------------	---------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	大淀マチオモイ帖制作事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動 交付金	174,600	
2	販売収入	25,000	マチオモイ帖販売(27冊)
	繰越金	0	
	合計(A)	199,600	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	198,000	マチオモイ帖作成料第12集 198,000円
	合計(B)	198,000	

収支差額(A) - (B)	1,600
---------------	-------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	光フェスタ事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	地域コミュニティ活動 交付金	115,742	
	繰越金	58,053	
	合計 (A)	173,795	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科 目	金 額	内 訳
1	需用費	84,592	竹灯笼作製資機材 36,806円 LEDライト 26,392円 食糧費 (お茶代他) 21,394円
2	役務費	2,800	ボランティア行事用保険料 2,800円 (20人×28円×3回+40人×28円)
3	使用料及び賃借料	3,300	竹煮用鍋レンタル代 3,300円
	合計 (B)	90,692	

収支差額 (A) - (B)	83,103
----------------	--------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	夢を語ろう色紙作成事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動 交付金	91,000	
2	繰越金	0	
	合計 (A)	91,000	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	114,263	色紙作成料 97,763円 チャーム飾り材料費 16,500円
	合計 (B)	114,263	

収支差額 (A) - (B)	▲ 23,263
----------------	----------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	小学生に卒業記念品を送ろう事業
-----	-----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	地域コミュニティ活動 交付金	10,960	
	合計 (A)	10,960	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科 目	金 額	内 訳
1	需用費	27,070	チャーム飾り材料費 16,500円 電熱ペン 5,406円 紙やすり他 5,164円
2	役務費		
	合計 (B)	27,070	

収支差額 (A) - (B)	▲ 16,110
----------------	----------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	おおよど福祉まつり
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動 交付金	691,200	
	繰越金	100,000	
	合計 (A)	791,200	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	役務費	74,490	臨時営業許可申請手数料 3,500円 ボランティア行事用保険料 (対象700人) 19,600円 駐車場警備員 42,900円 ゴミ処分代 6,600円 はがき代 1,890円
2	需用費	396,584	食糧費 (お茶代・弁当代) 244,924円 祭り運営消耗品 (トナー他) 48,400円 被り物 (スティラノサウルス) 52,138円 祭り消耗品 51,122円
3	使用料及び賃借料	171,600	テント等リース 171,600円
	報償費	23,000	謝礼金 23,000円
	合計 (B)	665,674	

収支差額 (A) - (B)	125,526
----------------	---------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	ふれあい健康ウォーキング大会
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動 交付金	17,800	
	合計 (A)	17,800	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	19,460	ポータブルメガホン 4,899円 食糧費 (お茶代他) 14,561円
2	役務費	3,800	ボランティア行事用保険料 1,400円 (28円×50人) 道路使用許可申請費 2,400円
	合計 (B)	23,260	

収支差額 (A) - (B)	▲ 5,460
----------------	---------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり事務局整備事業	
-----	--------------	--

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	471,284	
2	繰越金	0	
	販売収入	1,500	マチオモイ帖販売(3冊)
	雑収入	17,745	
		490,529	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	198,130	事務用品 46,934円 トナー代 108,900円 マスター・インク代 38,060円 ビデオケーブル他 4,236円
2	役務費	88,532	通信費 87,412円 ボランティア行事用保険 1,120円 (28円×20人×2回)
3	使用料及び賃借料	262,096	コピー使用料(R6年4月～R7年3月) 134,056円 PCリース料 128,040円
4			
	合計(B)	548,758	

収支差額(A) - (B)	▲ 58,229
---------------	----------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	報告会開催事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	44,000	
	合計 (A)	44,000	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	8,574	食糧費 (お茶代他) 8,574円
2	使用料及び賃借料	5,770	会場使用料 5,770円
3	役務費	0	
3	報償費	16,000	講演者謝礼金 16,000円 京都大学 防災研究所 宮崎観測所 山下 裕亮先生 講演・資料作成
	合計 (B)	30,344	

収支差額 (A) - (B)	13,656
----------------	--------

事業別収支計算書

大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	情報活動推進事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	257,900	
	繰越金	500,000	
	合計 (A)	757,900	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	757,900	おおよど元気だより7月号(46号)印刷費 284,900円 おおよど元気だより11月号(47号)印刷費 236,500円 おおよど元気だより3月号(48号)印刷費 236,500円
	合計 (B)	757,900	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書
大淀地域
大淀地域まちづくり推進委員会

事業名	記念撮影横断幕製作事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動 交付金	220,000	
	合計 (A)	220,000	

(2) 支出の部

(単位：円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	220,000	横断幕縫製費 (4校8枚、卒業式用・入学式用) 220,000
2			
	合計 (B)	220,000	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

積立金管理状況報告書

大淀地域自治区
大淀地域まちづくり委員会

積立金名称	災害時対応積立金
-------	----------

(3) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度積立額	3,001,037	※目標額 3,000千円
2	積立額	0	
3	取崩額	0	
4	貯金利息	1,375	8月19日 186円、2月17日 1,189円
5	合計	3,002,412	

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和7年 5月 23日

宮崎市長 清山 知憲 殿

宮崎市大坪町西六月2211番地1
大淀地域まちづくり推進委員会
会 長 杉尾 泰弘
0985-50-2008

令和7年2月4日付けで交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において199,224円の残金があり、繰越金として次年度への会計へ繰り越しますので、届け出ます。

繰越金内訳書

基礎交付金	199,224円
特例交付金	0円

添付書類

令和6年度収支決算書

令和6年度 大淀地域まちづくり推進委員会への意見書 [事業実施報告]

大淀地域自治区地域協議会
会長 井俣 徹

大淀地域まちづくり推進委員会より当協議会の審議に託された「大淀地域まちづくり推進委員会 令和6年度地域コミュニティ活動交付金事業実績報告及び収支決算(見込み)」を承認します。

なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1. 総括

地域まちづくり推進委員会の主体的な取り組みに加え、地域と学校、PTAの三者が連携した取り組みも広がり、事業の合理化や実効性の向上にも寄与していることや来年度から学校地域連携推進部会を設けることから、今後の取り組みの進展を期待する。

2. 事業の推進体制

地域協議会がなくなった後のまちづくりの体制を構築するにあたり、地域の各種団が連携・協力して取り組んでいけるよう責任をもって参画する体制を段階的に構築していくことや、まちづくり推進委員会からの構成員以外からの多様な意見を取り入れられる仕組みをつくることで、多くの住民が共にまちづくり活動に取り組むという地域に根ざしたまちづくり活動へと発展させていただきたい。

3. 各事業への意見 (意見のある事業のみ記載)

特に無し

4. その他

多くの地域住民がまちづくりに関わることができるよう、事業の周知をお願いする。